

自社開発の顧客満足度調査装置

東洋電装が関空に43台納入

各種システム開発の東洋電装(株)(安佐南区緑井四丁目二二―二五、桑原弘明社長)は、関西国際空港(大阪府)にタッチパネル式の顧客満足度調査装置「CSモニタ」を四十三台納入した。同空港の男子・女子・多目的トイレ内の、手洗い場付近に設置されている。



同製品は、真中央には、滞在時間短く、用紙を記入する広さが無い場所でも手軽なアンケートが可能で、集計結果はクラウドを利用してリア

管内のSAやPAのトイレに納入実績が多数あり、今後は空港をはじめショッピングモール等にも提案していく予定。

ルタイムで確認する事が出来る装置。同空港では約二年前に試験導入され、アンケート回答者数が当初見込みを大きく上回り、集計結果から曜日や時間等効果的・効率的な清掃につながる」と好評を得た事で、本格納入となった。子供に親しまれやすい画面は、同社販売促進チームがデザイン。また外国人旅行者に配慮し、英語・中国語・韓国語・スペイン語での表示も可能とした。タイプはタッチパネル式のほか、シール式、モニタ+ボタン式の三タイプから選べ、アンケート内容もカスタマイズ出来る。同製品はこのほか、NEXCOW(西日本

ソフト開発技術チームの土井優武リーダーは「同右は「要望を形にするのが技術者の使命。今後も様々な場所で皆様のお役に立ちたい」と話し、販売促進チームの瀬見達哉氏「同左は「関空やSAでお見かけの際は、是非アンケートにご協力を」と話している。